



## 閑上地区プロモーションビデオ制作に協力

1月26日(土)に吹奏楽部が名取市閑上地区プロモーション映像制作に協力させていただきました。閑上地区への定住促進を目的として、**ダンディ坂野**さんと吹奏楽部員がコラボし「ユリアゲッツ！」ミュージックビデオを制作しました。今後Y o u



T u b e 等で放映が予定されています。名取市役所や制作スタッフの皆様、このような機会を与えていただきありがとうございました。

### 映像制作に携わって

**大森桜弥** (2年・袋原中出身)

私たち吹奏楽部は9月に閑上地区の集会場落成記念式典で演奏する機会をいただきました。震災から8年が経過し、街の姿に復興が進んでいる様子が伺えますが、何よりも地域が一丸となり、復興に向けて取り組んでいる姿に感動し、私たちも閑上地区の皆様の復興への取り組みを少しでも応援したいと強く思うようになりました。そこで、このプロモーションビデオへの出演を喜んで引き受けさせていただきました。このビデオから私たちの思いが伝わればとても嬉しく思います。これからも様々な活動を通して閑上地区はもちろん名取市の皆様のお力になっていければと思います。撮影に協力いただきました皆様ありがとうございました。



### 東日本弓道大会県予選に参加

#### 女子団体優勝・男子団体3位

1月19日(土)に県弓道場で開催された東日本高等学校弓道大会の宮城県予選に参加し、女子団体が優勝、男子団体が3位となり、3月に群馬県で開催される本大会への出場権を獲得しました。



### 東日本高等学校弓道大会への抱負

**渡辺さくら** (2年・中田中出身)

私たちは東日本弓道大会宮城県予選で優勝し、群馬県で開催される本戦に出場することになりました。県予選では一人ひとりが自己の目標をしっかりと見据えて、準決勝・決勝ではどちらの試合でも一射目から横皆中を出し、全体でとても前向きな試合ができたと感じています。群馬県で開催される本戦は、私たちにとって初めての県外での大会です。各県を勝ち抜いた代表校の射を見て学び、大会の空気と緊張を感じながら、良い結果を出せるように頑張ってきます。応援していただいた保護者の皆様、顧問の先生に感謝を申し上げますとともに、今後ともよろしくお願いいたします。



### 和菓子作りを体験

1月23日(水)家庭科の**フードデザイン**の時間に「和菓子あさべや」の和菓子職人**浅部勝巳**様に講師としてご来校いただき「練り切り」製菓実習を行いました。生徒は職人の技に魅了され、楽しく実習に取り組みました。



### お菓子づくりを体験して

**佐々木美衣奈** (3年・槻木中出身)

フードデザインを科目選択している私たちは、浅部様の職人技を肌で感じるとともに、練り切りの繊細さや作業工程の難しさを実感し、日本の伝統や文化を学ぶよい機会をいただきました。練りあんに色をつけて、あんこを包み型にはめ込むという作業工程は単純ですが、私たちがつくった物と浅部様がつくった物を比べると2つに割ったときの中の色合いや、細かい模様の付き方がまるで違います。味だけでなく見て楽しむという日本のお菓子文化を感じるとともに、高い職人の技に感動いたしました。お忙しい中ご指導いただきました浅部様ありがとうございました。



### 増田児童センターボランティアに参加

冬休みに奉仕活動部が増田児童センターのボランティアに参加し、子どもたちから元気をたくさんもらいました。ご協力いただきました職員の皆様ありがとうございました。

### 子どもたちと接して

**高野恵吾** (1年・郡山中出身)

活動の中で、冬の寒さも関係なく元気いっぱいの子どもの活発な動きについて行けなくなる場面も時折ありましたが、私たちがどうすればいいか戸惑っている時、遊びに誘ってくれる子どもたちにホッとする場面もありました。私はこのボランティアを通して受け身ではなく積極的に行動することの大切さを改めて実感しました。いつも私たちに活動の機会を与えてくださる増田児童センターの職員の皆様に心から感謝申し上げます。これからも、元気な子どもたちからたくさんのことを学んでいきたいと思います。



### センター試験に挑戦

センター試験は、1月19日(土)・20日(日)仙台大学と尚絅学院大学の2つの会場で実施されました。生徒たちは、応援に駆けつけた教職員から励ましの言葉や、緊張をほぐすためのお守りやお菓子を手渡され、試験会場に入っていました。生徒たちは、今まで培った力を発揮し、精一杯挑みました。3年生はセンター試験後、私大一般入試、国公立二次試験と、受験本番を迎えています。生徒たちが全力を発揮できるよう、学校全体で応援してまいります。



今月は、昭和六十三年から平成八年の九年間本校で勤務し、現在は、本校の目の前にお住まいの馬場潤一様にインタビューしました。馬場様は、福島県の郡山市出身で、小・中・高校と郡山市で過ごし、大学卒業後は北海道の教員として勤務されました。北海道で十二年勤務され、その後、宮城県の教員として六校・一公所で勤務されました。現在は仙台市内の日本語学校で外国人に日本語を教えられています。

## 「離見の見」 馬場 潤一 様



**Q 日本語学校のお仕事を始められたきっかけは？**

A 高校生の頃から、短期間でもいいから、いつか外国へ行き、その国の普通の人々の暮らしぶりを体験したいという思いがありました。

そのためには交流のきっかけになるものが必要です。そこで考えたのが日本語教師という道でした。いろいろ調べているうちに紹介されたのが、東欧の国ポーランドでした。ポーランドに行ってみるととても親日的な人々が多く、日本語の学習熱も高く、剣道や折り紙といった日本の伝統文化にも人気がありました。そこでの様々な経験が帰国後に日本語教師を続けることにつながっています。

**Q 日本語学校のお仕事の楽しさや魅力は？**

A 漢字はもちろんひらがなさえも読めない、書けない外国人が、日本語で自分の考えを表現できるようになると言うことは日本人としてうれしいことです。そのことは、世界の中で日本の在り方を考えさせられると同時に自分自身が日本人としてどう生きていくべきかを考える貴重な機会ともなっています。

**Q これまでお仕事をされてきての意義は？**

A 教員時代を含め、人間が成長・変化していくことにかかわるといふ仕事は素晴らしいことだと思っています。人間は様々なことを経験しながら成長していくものです。教育とはその過程をとにも歩むことだ、と考えています。

**Q 日頃から心がけていることは？**

A テレビ等のマスコミで報じられることや書いてあるものを鵜呑みにしない、できるだけ自分の五感で確認しながら、自分の考えを深めていかなければならない、ということ。

**Q これから取り組みたいことや目標は？**

A 二〇二〇年のオリンピック、パラリンピックでの都市ボランティアに参加することです。採用されるかどうかわかりませんが、様々な国の人たちと交流し、宮城での大会に協力できたらいいなと考えています。

**Q 北高生の印象は？**

A 一言でいうと「中庸」。辞書の表現を借りれば「極端な行き方をせず穏当なこと」、「片寄らず中正なこと」とあります。このことはとても大切なことです。

**Q 北高生にメッセージを！**

A 日々の積み重ね（努力）を大切にしてください。それが人生そのものだと思えます。誰にでも平等に訪れるチャンスは、努力を怠らない人だけがつかむことができます。

最後に北高生の皆さんに考えていただきたいことを一つ。次の言葉はどんな意味でしょうか。「離見の見」です。是非調べて自分のこととして考えてみてください。

## 校内課題学習発表会を実施

12月20日（木）に2学年で総合的な学習の時間において「課題学習全体発表会」を実施しました。興味深い内容の発表が多く、生徒たちは現代社会の抱える問題について堂々と発表していました。

### 「なぜ学校は息苦しいのか」を発表して

八島美幸（2年・大河原中出身）

私は課題学習発表で「なぜ学校は息苦しいのか」をテーマとして、他人の目を気にしすぎることや、人の誘いを断れないという思春期の息苦しさについてクラス代表の一人として発表しました。課題学習をとおして以前から興味のあった心理学について深く学べたのでとてもやりがいを感じました。また、クラスでは同じような内容に興味を持つ人たちが班をつくり夏休みに調べ学習を行い、結果について意見交換することにより理解を含め合い、切磋琢磨して総合的な学習の時間に取り組めたと思います。今回の発表は、班員にとっても、私にとっても良い経験になりました。違う観点から物事を見たり、新しい分野に興味を持てたりなど、今後の進路を決定していく上でとても貴重な発表会になったと感じています。



## 1 学年進路ガイダンスを実施

1月22日（火）の「総合的な学習の時間」に「1学年進路ガイダンス」を実施いたしました。本校生徒の多様な進路目標達成に向けて大学・短大、専門学校、民間就職、公務員の4つの分野に分かれて各講師の方々から説明を聞きました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

### 進路ガイダンスに参加して

高橋美咲（1年・村田一中出身）

私は、医療系大学と工業系大学の講座を受講しました。自分が興味を持っている分野だったので、進路選択に必要なことを聞くことができ、良かったです。医療系のお話は大変興味深く、自分の将来に向けて1つ1つ丁寧に教えていただきました。一方、工業系では、東北工業大学の学部や学科がどのようなものなのかを知ることができました。2つの講座を受講して、自分の進路について考えが深まりました。今後に生かしていきたいと思っています。このような機会を与えていただきありがとうございました。

